

日本共産党議員団、1人増え10人力の働き 合併最初の3月予算議会で、新市のあり方を問う

樋口議員、新年度一般会計予算、 国保会計予算など四議案で反対討論

新上越市の予算議会は3月28日が最終日、新年度予算、条例、請願などの討論、採決が行われました。

採決に先立って、日本共産党議員団の樋口良子議員が代表して登壇し、新年度の一般会計予算、国保会計予算、新幹線新駅区画整理予算、及び国保条例一部「改正」について反対討論をしました。他の92議案には賛成しました。

このうち一般会計予算について樋口議員は、新市建設計画の財政計画と実行予算が大きく離れているのに、財政計画の修正がない、すでに起工式が終わり、工事中の厚生連上越病院に対して、毎年1億円の補助を20年間続けようとしている、新市全体のまちづくりをよく論議検討していないことなどを反対理由をあげました。

国保会計予算には、介護保険料の1人当たり約2000円の値上げが含まれています。樋口議員は、「経済的にたいへんな状況の市民に、いままでの負担増を強いることは問題」とのべ、反対しました。

新幹線新駅については乗降客の見込み数を3000人程度と予測していますが、日本共産党議員団はこの予測数値は大きすぎると批判してきました。この数値は区画整理の規模にも連動していきます。この結果、必要以上の区画整理にもつながります。樋口議員は、この点を問題にしました。



雪消えの進む山間地では「春木山」が始まっています(吉川区)

3月議会をふり返って

日本共産党議員団長 杉本敏宏

長かった3月定例議会(2月28日〜3月28日)が終わりました。合併して、増員選挙があつて、最初の議会、初めての予算審議ですから、

党議員団は、「新市建設計画を実行する最初の予算議会」と位置付けて臨みました。しかしそうした意識を持っていたのは、ほんの一部の議員でしかありませんでした。合併の意味が問われていたのに大多数の議員、特に旧上越市の議員の多くは従来の延長線上でしか考えていないようでした。

13区から選出された議員が、その区の代表としてどんな発言をするかが注目されました。それが増員選挙の最大の争点でもあつたからです。この点で及第点を付けられる

のは、わが党の橋爪法一議員など数人の議員だけだったと思います。このなかでも橋爪議員の活躍は注目のでした。区民の声をとりあげるにしても、全市的な観点から鋭い質問を展開する、その姿は議員や理事者、傍聴者などに強烈な印象を与えました。

2人から3人になったことで、樋口議員や私も張り切りしました。災害対策、福祉、教育などの分野でたくさんの方の市民要求実現の道が開かれました。「日本共産党議員団の活動は、十人力だ」という評価をしてくださいました方もありました。

引き続きがんばりますので、ご支援よろしく願います。



日本共産党上越市議員団ニュース

7	2005年4月10日
連絡先	杉本敏宏 524-3787 (東本町5)
	樋口良子 544-6802 (中門前3)
	橋爪法一 548-3628 (吉川区代石)
事務局長	上野公悦 530-2203 (頸城区中柳町)

杉本敏宏議員、橋爪法一議員はそれぞれホームページを開設しています。活動日誌も書いています。アドレスは名前で検索できます。